

2024 年度 第 4 回

駿台学力テスト

1 年

国 語

1 月 19 日(日)実施

〔 注 意 〕

1. まず初めに、この問題冊子が、あなたの受験する「学年」「教科」であることを必ず確認すること。
2. 解答は必ず解答用紙の指定された箇所に記入すること。解答に際して指定されない記号・符号を記入した答案は無効とする。
3. 問題は 1 ページから 17 ページまで。
4. 試験開始の合図があるまで、問題を開かないこと。合図があったら、問題に着手する前に必ず解答用紙に受験番号、氏名を忘れずに記入すること。
5. 試験時間は 60 分。
6. いったん書いた解答を訂正する場合は、前のものをしっかり消して書き直すこと。
7. 問題冊子は持ち帰り、『解答解説集』をよく読んで、復習に努めること。

※ 解答用紙の下部に QR コードシールを貼る欄があります。

【国語】の QR コードシールを間違わずに必ず貼ってください。

受験 番号								氏 名	
----------	--	--	--	--	--	--	--	--------	--



駿台中学生テストセンター主催



2024S14030

〔注意〕

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。

※ 特にことわった場合をのぞいて、解答の字数指定では「、」「や」「。」「その他記号も一字に数えます。

一

次の――線のカタカナは漢字に直して書き、漢字はその読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 説明がムジユンする。
- (2) 問題解決はヨウイではない。
- (3) これまでのガイネンをくつがえす発明。
- (4) 重箱のシミをつつくような指摘。
- (5) 相手の顔を凝視する。
- (6) 選考の条件に該当する。
- (7) 名残を惜しむ。
- (8) 悪天候で工事が滞る。

〔二〕 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

アザラシ類は、世界中に19種知られており、日本にはそのうちの5種、ゴマフアザラシ、ゼニガタアザラシ、ワモンアザラシ、アゴヒゲアザラシ、クラカケアザラシが棲息^{*1}、または回遊^{*2}している。アザラシの乳首は、おへその下に1対存在する種が多いが、アゴヒゲアザラシのように2対存在する種もいる。基本的に、水中ではなく陸上または氷上で子育てや授乳をする。【ア】

中でも、北大西洋や北極海に棲息するズキンアザラシの授乳は、わずか〔A〕日間で終わり、哺乳類最短といわれている。この哺乳類最短の授乳期間は、シヤチやホツキョクグマなどの外敵に襲われるのを防ぐためと考えられている。

〈中略〉

母親は早く離乳^{*3}させる代わりに、脂肪分が60%以上という高脂肪の母乳を子どもに与え、共に過ごす4日の間に子ども^③の体重を20キログラムから40キログラムに倍増させる。高脂肪の母乳によって、皮下脂肪を一気に増やす作戦である。これが、短い期間しか一緒にいられない、母から子への^①最大限の贈り物なのだろう。

脂肪分60%以上の母乳は、他に類を見ない。〔B〕ウシの乳(牛乳)の脂肪分は10%程度、私たちが一般的に食べるチ

ーズは約25%、バターは約80%なので、液体バターを飲んでいるようなものである。【イ】

ズキンアザラシは、北北大西洋や北極海の氷上で出産することから、子どもにとって皮下脂肪は栄養源になるとともに、寒い環境でも体温を保ち、その後の水中生活に耐えるための防寒対策としても大変重要となる。

〔C〕ズキンアザラシの子どもは、^②一人で生き残るための戦略も身につけている。天敵の目を欺くために、氷上の環境に溶け込むような目立たない白色の体色をしている。さらに、このときの毛は水をはじくため、いざとなったら生後4日目でも海に潜ることができる。

ちなみに、〔A〕日間の授乳では物足りない個体もいるようで、中には自身の母親がいなくなったあと、別のアザラシの母子の間に割って入り、その母親のお乳を横取りする行動も見られるという。こうしてたくましい個体が生き残って

いくのかもしれない。【ウ】

同じ北西大西洋に生息するタテゴトアザラシも、ズキンアザラシほどではないが、授乳期間が2週間と比較的短いことで知られている。こちらでも53%にもなる高脂肪の母乳を子どもに与え、2週間で子どもの体重は10キログラムから4倍の40キログラムに増える。【エ】

キリンは、クジラと同じ鯨偶蹄目^{*4}の一種で、ウシと同じ反芻^{はんすう}（一度飲み込んだ食物を口に戻し、再び咀嚼^{*5}してまた飲み込むこと）をする反芻類である。乳首は後ろ足の付け根に2対、4個存在する。

アフリカの草原で生き抜く草食獣で、出産や授乳は外敵に襲われるリスクにさらされる。そのため、他の草食動物と同様に基本的に立ったまま子どもを出産し、授乳もする。子どもは、生まれてすぐに立ち上がり、母親に誘導されてはるか頭上にある乳首を探し当て、母乳を飲み始める。【オ】

キリンの母乳は、前出のアザラシと真逆で、脂肪分をはじめとする栄養分はわずか23%、残り77%が水分である。この脂肪分の割合は、人間が飲むスキムミルク（牛乳から乳脂肪分を取り除き乾燥させたもの。脱脂粉乳）と、ほぼ同じである。

私がスキムミルクを身近に感じたのは、大学院を卒業してからアメリカに武者修行^{*6}に行った時である。当時、アメリカのスーパーマーケットへ行くのが楽しくて、暇さえあれば出かけていた。アメリカのスーパーマーケットの陳列品数は桁違い^{*7}で、ミルク一つとっても種類が多すぎてどれを買ってよいのか本当に迷ってしまうのだ。【カ】

一つ一つ手に取り裏面に書いてある成分をよく熟読したが、その中でもスキムミルクのバリエーション^{*8}はすさまじかった。今では肥満防止や健康維持のためにスキムミルクを選ぶ人が増えていると聞くが、キリンの場合は生きていくために、^③その割合になっている。

キリンの母乳に水分が多いのは、キリンがアフリカという乾燥した草原地帯に棲息していることに由来する。アザラ

シと違い、キリンの子どもは寒さに耐えるための脂肪より、体を潤す水分の補給が重要ということである。

さらに、キリンの授乳期間は約10ヶ月と比較的長い。さらに、生後2週間ほどで、草を食べ始め、離乳後も母親と同じ群れで何年も一緒に過ごすことができる。そのため、アザラシのように高栄養なミルクで急激に成長する必要はない。そこで、キリンの母乳は栄養分よりも、水分を優先した配分になった。アフリカの草原のように乾燥した土地では、すべての生物にとって水分の獲得が生き残りに直結するといっても過言ではないのであろう。^{*9}

〈中略〉

静岡県下田市の海岸に、ハクジラ類の一種であるハナゴンドウ^{*10}2頭が生きたまま発見されたことがある。クジラ類を含む海の哺乳類が砂浜や海岸に生死を問わず打ち上げられることは、四方を海で囲まれている日本では決して珍しいことではない。年間300件ほどの報告があり、総称して「ストランディング」と呼ばれる現象である。

このときは、地元の下田海中水族館の職員の方が現場へ急行したが、到着した時には、既に2頭とも亡くなっていた。体の大きな個体は泌乳(母乳を分泌)し、小さな個体はまだ身体にシワシワがあつたので、出産まもない親子のハナゴンドウであつた。

2頭とも解剖調査した結果、なぜ親子で海岸に打ち上げられてしまったのか、その原因はわからなかったが、出産まもないとそれだけで命に関わる事態になるのかもしれない。2頭とも死亡してしまったことは残念であるが、仮に子どもだけが生きており水族館で保護した場合、次の課題はどのようなミルクを与えたらよいのか、である。

「牛乳でよいのか？ 人間の粉ミルク？ それともイヌ用？」

与えないよりは与えたほうがいいのか、あるいはキリンのようにまずは D 補給が先決なのか……。こうした初歩的な生態もわかっていないのが、野生動物の現状である。

クジラの場合、ウシは系統的に近縁だが、市販の牛乳は成分調整されているし、近くの牧場から生乳をいただくというのも現実的ではない。そもそもウシ用のミルクの組成がクジラに適しているかどうかの判断も難しい。^{*11}^{*12}

身近な愛玩動物^{*13}でも、イヌ・ネコ用の粉ミルクが別々に市販されているように、動物によってミルクの成分は違うため、人間が用意できるものをただ与えれば良いというわけではない。

ちなみに学生時代、実家の庭先で野良猫の姉妹が同時に出産し、15匹の子ネコに毎日のようにミルクをあげていたことがある。今でも、小動物用哺乳瓶で子ネコにミルクをあげるのはプロ並みといっても過言ではない。

現在も、^④野生動物の子どもが保護されると、現場の対応は困難をきわめる。それでも少しずつ、水族館や保護施設での経験や知見^{*14}が蓄積された結果、近年になってイルカ用ミルクが開発された。ちよつと E 情報である。

(田島木綿子^{ゆうこ}『クジラの歌を聴け』による)

〔注〕 * 1 棲息……ある場所に住むこと。

* 2 回遊……水中で生活する生物が、定期的に移動して住む場所を変えること。

* 3 離乳……栄養をとる手段が、母乳からそれ以外の食物に移ること。

* 4 鯨偶蹄目……生物学上の分類名。ラクダやウシ、クジラなどが含まれる。

* 5 咀嚼……口の中で食べ物をよくかみ砕くこと。

* 6 武者修行……ここでは、学問を鍛錬する目的でよその土地に行くこと。

* 7 桁違い……他とは比べものにならないこと。

* 8 バリエーション……種類。

* 9 過言……言いすぎ。

* 10 ハクジラ類……クジラの分類名の一つ。

* 11 近縁……近い関係にあること。

* 12 組成……成分の割合。

* 13 愛玩動物……ペット。

* 14 知見……見聞して得た知識。

問一 次の一文は、本文中のある段落の最後から抜き出したものです。戻す場所として最も適切な箇所を本文中の【ア】～【カ】から一つ選び、記号で答えなさい。

それは太る、いや太れるはずである。

問二 二か所ある [A] に共通して当てはまる最も適切な数字を、算用数字で書きなさい。

問三 線①「最大限の贈り物」とありますが、これについて次のように説明するとき、[a] [c] に当てはまる最も適切な表現を本文中からそれぞれ指定字数でさがし、抜き出して書きなさい。

アザラシの母親が、[a] (十四字) 子どもに与える、生きていくうえで必要な [b] (四字) をつけさせるための [c] (六字) のこと。

問四 [B]・[C] に当てはまる最も適切な表現を次からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア つまり イ さらに ウ むしろ エ もしくは オ たとえば

問五 線②「一人で生き残るための戦略」とありますが、その説明として適切なものを次からすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 高脂肪の母乳を飲むことで、体重を急激に増やすことができること。
- イ 水をはじく体毛をもち、いざとなれば海に逃げ込めること。
- ウ 周囲の環境に溶け込む体色をしており、天敵にみつかりにくいこと。
- エ 他の母子の間に割って入っても、違和感のないような体色をしていること。
- オ 自身の母親がいなくなると、別のアザラシの子どもからお乳を横取りする習性をもつこと。

問六 — 線③「その割合」について、次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 「その割合」を簡潔に表した十五字以上二十字以内の表現をこれよりあとの本文中からさがし、はじめと終わりの三字を抜き出して書きなさい。

問七 (2) (1)で答えた割合になっているのはなぜですか。その理由を八十字以上百字以内で説明しなさい。

問八 — 線④「野生動物の子どもが保護されると、現場の対応は困難をきわめる」とありますが、その理由を次のように説明するとき、 $\boxed{a} \cdot \boxed{b}$ に当てはまる最も適切な表現を本文中からそれぞれ十字以上十五字以内でさがし、抜き出して書きなさい。

b	ことをふまえてミルクを与えるなどの対応が必要になってくるが、野生動物については
a	ことが多いから。

問九 $\boxed{E}$ に当てはまる最も適切な表現を次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 同情する イ 安心する ウ やるせない エ 信じたがい オ 心もとない

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

弁護士であるオボロは、堀亜佐子から、彼女の息子が起こした問題について相談を受けています。亜佐子の息子の駿介は中学二年生で、半年ほど前から部屋に引きこもっていますが、SNSで、ある声優の誹謗中傷（誹謗^{ひぼう}）根拠のない悪口を言って攻撃すること）をしたとして、声優側から個人情報の開示請求（住所や氏名などの個人情報を知らせるよう要求すること）をされています。次の文章は、オボロが駿介と話をするために、堀家を訪れた場面です。

駿介の趣味や嗜好^{*1}についての質問が続けたが、亜佐子の反応は鈍い。「知りません」「さあ」という答えばかりで、一向に理解が深まらない。ついには「先生」と質問を遮られた。

「失礼ですが、^①これ^②って関係あるんでしょうか」

「これ、というのは」

「私たちが話すのも結構ですけど、その、早く部屋から出てきてくれるよう説得してもらえませんか」
思わず^②呆気^②に取られた。オボロは引きこもりをやめさせるために来たわけではない。

「あの……確認ですけど、^{*2}ぼくは駿介さんの代理人として依頼を受けています。お母さんの代理人ではありません」

「どういう意味です？」

「ぼくは駿介さんの利益が最大になるよう動きます。彼が何を考えているか、どうしたいか、それを知らなければ動きようがありません。部屋から引つ張り出すことが目的ではないんです」

「でも、部屋から出ないと話ができないと思うんです。先生だけが頼りなんです。お願いします」

亜佐子は深々と頭を下げた。これでは丸投げだ。

「やり方が強引では、余計に反発を招きかねません」

「そこをうまくやるのが……」

亜佐子は途中で口をつぐんだ。 A、とでも言いたかったのか。

窓に視線をやると、うつすらと自分の顔が映りこんでいた。疲れた四十前の男がこちらを呆然ぼうぜんと見ている。

「開示請求に同意するか、拒否するか。決めるのは駿介さんです」

「未成年なら親が決めるんじゃないんですか」

心底びっくりしたような顔つきだった。

「いえ、本人の意思が最優先です」

「だったらなおさら、先生に何とかしてもらわないと。私にはどうしていいかわからなくて。息子の引きこもりを解決する能力なんてありません。だから先生、どうかお願いします。あの子を出してください」

また頭を下げる。拝み倒しだ。

——そんな方法があるなら、ぼくが知りたいですよ。

喉元まで出かけた言葉をオボロは呑み込んだ。言ったところで状況は変わらない。

しばし、沈黙がダイニングを支配した。^{*3}救急車のサイレンが遠くで響く。とりあえず、情報収集はいったん諦めることにした。

「……駿介さんの部屋に案内してもらえますか」

③ 亜佐子はほっとしたように「もちろん」と言った。

〈中略〉

ダイニングでは亜佐子が悲痛な顔つきで待っていた。

「どうでした」

「一切答えてくれませんでした」

「やっぱり」

亜佐子の長いため息には、落胆、失望、そして B が含まれていた。こうなることを最初から予期していたかのような「駿介さんの写真はありませんか」

少しでも正確に、ドアの向こうにいる少年の姿を想像したかった。

「……少し待っていてください」

亜佐子はスマホを操作して、オボロに画面を見せた。

「これです」

映っているのは家族写真だった。旅先で撮ったのか、亜佐子と夫、そして二人の息子が海辺に立っている。兄弟は小学生くらいに見えるため、撮影したのは数年前だろう。亜佐子は背が高いほうの少年を指さす。やせ型で、まぶしそうに目を細めた表情には母親の面影があった。

④ オボロは想像した。写真のなかの少年が、パソコンを使って熱心に作業をしている。SNSでの誹謗中傷だった。声優への罵倒^{*4}を書き綴^{つづ}る少年の顔を、ディスプレイ^{*5}の光が照らしている。

その時、鐘の音が高らかに鳴った。インターホンだ。

「彰平^{しょうへい}かも」

亜佐子は玄関へ走った。玄関ドアを解錠する音と、「ただいま」というぶっきらぼうな声が聞こえた。ぼそぼそと話す声も聞こえる。どうやらオボロが来訪している旨を伝えているらしい。もどかしくなり、自ら玄関へ出向いた。

玄関には白シャツにスラックス^{*6}の少年が立っていた。⑤ 虚を衝^つかれたような表情である。リュックサックを背負い、靴を履いたままだった。

「お邪魔しています。弁護士のオボロといいます。彰平さん……ですか」

亜佐子にせっつかれ、少年は頭を下げる。

「あ、えっと、堀彰平です」

声変わり前の高い声だった。駿介の一歳下で中学一年生。時刻はまだ五時前だ。部活などの課外活動はしていないのだろうか。やはり彼も線が細く、目元が母親と似ている。

「すみません。この子、先生が今日来ること忘れていたみたいで」

亜佐子^{*7}がとりなすが、当の本人は首をすくめただけだった。

「兄^{にい}ちゃんの話でしょ。おれ、いる？」

「彰平さんにも訊^ききたいことがあるので」

二人の会話に割って入った。彰平は首をかしげながらも、洗面所で手を洗ってからダイニングに現れた。背丈は一七〇センチ程度か。中学一年生にしては高いほうだ。亜佐子と彰平がテーブルに着いたのを見届けてから、オボロは彰平の正面に腰を下ろした。

「スポーツはやってるんですか」

「あ、ちよっとだけバレー部にいました。でも、夏休み前にやめて」

「今はやってないんだ」

「まあ、はい。なんか、先輩のいじめとかあったし、怪我^{けが}もしたんで」

尋ねていないのに言い訳を口にする。その癖も母親と似ている気がした。

「お兄さんの件はどう思いますか」

「え……どう、つて？」

「声優の方に誹謗中傷をしたんじゃないか、という件について」

ああ、と間延びした声が彰平の口から漏れた。またも無関心だ。この少年はいったい、何のために弁護士がここにいると思っていたのだろうか。

「……恥ずかしいです、とにかく。学校同じなんで。まだバレてないけど、兄ちゃんがネットで声優に絡んで炎上^{*8}したとか、

知られたくないです。先輩からも目えつけられそうだし。勘弁してほしいです」

「お兄さんは学校でいじめられたりしていた？」

「さあ……わかんないけど、たぶん、いじめられてたんじゃないですか。中学生になってもろくに漢字読めないんですよ。そのくせ、アニメの台詞とかめっちゃ完璧に覚えてんの。マジで気色悪い」

亜佐子は悪態をつく彰平をたしなめようともしない。オボロの胸のうちに^⑥不快感がふくらんでいく。

「じゃあ、お兄さんはどうしてそんなことをしたと思う？」

「え、おれ？ おれが知るわけないでしょ。本人じゃないから」

「わかってるよ。正解なんて訊いていない」

つい、刺々しい言葉が口を衝いて出た。

いつもなら我慢できた。しかも相手は子どもだ。だが、この家を覆っている無理解さへの怒りが、沸点を越えた。^{*10}涼しい顔をしていた彰平は急に怯え、亜佐子は狼狽したように視線を泳がせる。

——しまった。

これ以上続けても有益な情報は得られない。今日は帰ることにした。

(岩井圭也『付き添うひと』による)

〔注〕 *1 嗜好……好み。

*2 代理人……手続きや交渉を代わりに行う人。弁護士は依頼者の代理人として、相手とのやり取りを行う。

*3 ダイニング……食事をする部屋。

*4 罵倒……激しくののしること。

*5 ディスプレイ……映像や文字を画面に表示する装置。

*6 スラックス……ズボン。

*7 とりなす……間に入って、その場をうまくまとめる。

*8 炎上……インターネット上で特定の対象に対して非難が集中し、収まりがつかない状態。

* 9 悪態をつく……悪口を言う。

* 10 沸点……ここでは、限界点のこと。

* 11 狼狽……うろたえること。

問一 — 線①「これ」が指す内容を、本文中の言葉を使って二十五字以上三十字以内で説明しなさい。

問二 — 線②「呆気にとられた」とありますが、それはなぜですか。その理由を七十字以内で説明しなさい。

問三 Aに当てはまる最も適切な表現を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 先生の仕事でしょう

イ 親としての務めです

ウ あの子のためなんです

エ 私たちの目的でしょう

オ 家族の望みなんです

問四 — 線③「亜佐子はほっとしたように『もちろん』と言った」とありますが、このときの亜佐子について説明したものとして最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 駿介と話すことをためらうオボロに対し、弁護士としての能力に不安を感じていたが、オボロがようやく本題にとりかかる姿勢を見せたので安心してている。

イ 駿介と話すために来たにもかかわらず、自分と世間話をするばかりのオボロにいらだちを感じていたが、オボロがようやく行動を起こしたので満足している。

ウ 駿介を部屋から出したいのに、オボロにはその気がないと知って不安になっていたが、オボロがようやく駿介を説得する気になってくれたのだと思い安心してている。

エ 自分は駿介の趣味についてよく知らないのに、それについて質問されることに気まずさを感じていたが、オボロの質問からようやく解放されるとわかり安心してている。

オ 駿介と話さないことには問題は解決しないのに、そのことがわからないオボロに困惑していたが、オボロがようやく自分の考えを理解してくれたと知り満足している。

問五 B に当てはまる最も適切な語を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 困惑 イ 不満 ウ 諦め エ 軽蔑 オ 後悔

問六 —— 線④「オボロは想像した」とありますが、それはなぜですか。その説明として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 駿介がなぜ誹謗中傷をしたのかを知るために、少しでも正確に駿介のことを理解したかったから。
イ 苦しんでいるであろう駿介のことを想像することで、諦めそうになる気持ちを奮い立たせたかったから。
ウ 駿介の人間性を想像することで、駿介に引きこもりをやめさせるための手がかりをつかめると思ったから。
エ 駿介の趣味や嗜好に関する亜佐子の知識はあいまいだったため、自分の想像力の方が信頼できると思ったから。
オ 駿介と話すことには失敗したが、駿介の置かれた状況や気持ちに真剣に思いをはせることで、駿介に誠意が通じると思ったから。

問七 —— 線⑤「虚を衝かれた」の意味として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 不正を問いただされた
イ 隠しごとがみつかった
ウ 本質的なことを指摘された
エ 後ろめたい気持ちを見抜かれた
オ 予想しないところに攻めこまれた

問八 —— 線⑥「不快感」とありますが、これと同じ気持ちを表した十六字以上二十字以内の表現を本文中からさがし、はじめと終わりの五字を抜き出して書きなさい。

問九 本文の登場人物と表現についての説明として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア オボロは駿介の抱える問題に真剣に取り組んでおり、責任感の強い、駿介の唯一の理解者として描かれている。

イ 亜佐子は、駿介の置かれている状況に危機感を抱きつつも、駿介を理解しようとはしていない人物として描かれている。

ウ 彰平は、自分の生活に影響がない駿介の問題を考える必要はないと思っており、家族に興味を持たない利己的な人物として描かれている。

エ 本文の前半は亜佐子の視点、後半は彰平の視点で描かれており、それぞれの人物が駿介の抱える問題についてどう考えているかが表現されている。

オ 本文は会話を中心に展開し、それぞれの登場人物の抱える複雑な思いが、発言を通して描かれている。

〔四〕 次の古文は元武士の僧である浮世房を主人公とした『浮世物語』の一篇です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

今はむかし、御内^{*1}に召しかかへられし野夫^{*2}医者^{*3}のありけるが、名をば通齋^{つうさい}といふ。物も知らず、ただ聞^{*3}書^{*4}ばかりにて療治^{れうぢ}をする。その書物^{*4}はみな A 書きなり。浮世房^① 問ひけるやう、「其方^{そなた}は学文^{*5}よくさせられたさうな。しかも療治もよくめさるると見えた。^② 医学^{*7}正伝は誰の作ぞ」と問ふ。もとより見たる事もなければ、その作者は聞きたるばかりなり。聞書^{*3}のはしに「ごうとくろうじん正でんをつくる」と、仮名^{*8}に書いて置きたるを思ひ出^いだして、「^③ それこそ存じたれ。正伝は^④ ^{*9} 唐の後藤九郎二郎といふ人の作ぢや」と答へた。

〔浮世物語〕による

〔注〕 *1 御内……浮世房が仕える主君。

*2 野夫医者……診療の下手な医者。やぶ医者。

*3 聞書……師匠の講義を書き記したもの。

*4 書物……聞き書きを記したもの。

*5 学文……学問。

*6 させられた……された。

*7 医学正伝……中国の医学書。作者は恒徳老人（ごうとくろうじん）。

*8 仮名……漢字に対するかな文字。日本語の音だけを表す。

*9 唐……中国。

問一 — A に当てはまる最も適切な語を本文中からさがし、抜き出して書きなさい。

問二 — 線①「問ひけるやう」を現代仮名遣いに直して、すべてひらがなで書きなさい。

問三 — 線②「きどくの事かな」の意味として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア おかしなことだ

イ 不思議なことだ

ウ 気の毒なことだ

エ おろかなことだ

オ りっぱなことだ

問四 — 線③「それ」が指す内容を次のように説明するとき、a・b に当てはまる最も適切な二字の語を本文中

からそれぞれさがし、抜き出して書きなさい。

a の b。

問五 — 線④「唐の後藤九郎二郎といふ人の作ぢや」とありますが、通齋がこのように答えた理由を次のように説明す

るとき、 に当てはまる内容を十五字以上二十字以内で書きなさい。

ため、そこから推測して答えたから。

問六 本文の内容に当てはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 通齋はやぶ医者であつたにもかかわらず、世間からの評判はよかった。

イ 浮世房は、通齋がすぐれた医者であると信じて疑わなかった。

ウ 通齋は、医学の知識がないことをごまかそうとしたが失敗した。

エ 浮世房は通齋をからかおうとしたが、通齋は機転をきかせて対応した。

オ 浮世房は通齋の知識を試そうとして、逆にやり込められた。

—		
(7)	(4)	(1)
(8)	(5)	(2)
る		
	(6)	(3)

四				
問六	問五		問三	問一
			問四	
			a	
				問二
			b	

[illegible]

2024S14030

0	3	0
---	---	---

ここには【国語】の
QRコードシール
を貼ること。

学 年		受験番号				
中 1						
氏 名	フリガナ					
	漢字					